

大会テーマ: 社会構造の変化と言語政策

—多様な参画者による持続可能な社会のアクションプランに向けて—

日時 2017年6月17日(土)～18日(日)
場所 関西大学千里山キャンパス・100周年記念会館(大阪府吹田市)
参加費 会員および学生 1,000円、非会員 2,000円

第1日 6月17日(土)12:00 受付開始(3階エントランスホール)

- 13:00～13:20 開会式(2階ホール1)
開会の辞 宮崎里司(日本言語政策学会会長)
会場校あいさつ 奥和義(関西大学副学長)
- 13:20～14:20 基調講演(2階ホール1)
「南」の移民たちが出会う
—22世紀に向かう多文化コミュニケーション—
峯陽一(同志社大学)
- 14:30～17:00 全体シンポジウム(2階ホール1)
日本の社会構造の変化と言語教育政策
—外国人児童生徒への言語教育施策を中心に—
外国人児童生徒に対する教育支援施策の課題について
木村哲也(帝京大学)
日本の外国人児童生徒に対する言語教育施策のあり方を考える
バトラー後藤裕子(ペンシルベニア大学)
在日ブラジル人児童生徒の発達障害について
—なぜ日本人児童生徒と比べ多い(ように見える?)のか—
柴崎敏男(NPO 法人国際社会貢献センター)
子供の貧困と学力格差 —外国人児童生徒に注目して—
青砥恭(NPO 法人さいたまユースサポートネット)
司会・討論者: 木村哲也
- 17:30～19:30 懇親会(3階レストラン紫紺) 会費 4,000円

第2日 6月18日(日)9:30 受付開始(3階エントランスホール)

10:00～11:30 一般研究発表(2階各会場)

第1会場(2階ホール1)

- マイノリティ言語に対するポーランド共和国のステータス計画
その内容と問題点 貞包和寛(東京外国語大学・院生)
- タタール・ティアスポラに見る少数民族語保持の可能性
—中央アジアのタタール人の事例から— 中村瑞希(筑波大学・院生)
- 独立後のラトヴィアにおける「無国籍者」問題 竹内大樹(神戸大学・院生)
- 司会: 白山利信(筑波大学)

第2会場(2階ホール2)

- マルタの小学校における複言語教育 その挑戦と課題
大澤麻里子(東京大学)、小川敦(大阪大学)、境一三(慶應義塾大学)
- 外国にルーツを持つ子どもたちへの言語教育支援:日本のバイリンガル・サポーターへの調査から 大山万容(京都大学)
- 日本における多言語環境での言語教育観
—韓国家庭のライフストーリーから見えること— 金ボラ(京都大学・院生)
- 司会: 杉野俊子(工学院大学)

第3会場(2階第1特別会議室)

- 言語教育における国際化政策 「グローバル人材育成」実践の比較研究
森山美雪(タラム大学・院生)
- 小学校国語教育における「ことばの市民」形成の場作りの可能性
横田和子(日白大学)
- 司会: 嶋津百代(関西大学)

第4会場(2階第4・5会議室)

- 中華人民共和国における方言番組をめぐる政策の変遷及び展望
小田格(公益財団法人 大学基準協会)
- シンガポールにおける生涯学習としての語学教育動向
—コミュニティークラブの語学教室から— 岡本佐智子(北海道文教大学)
- 観光施策にみる言語観 —言語政策はあるのか— 山川和彦(麗澤大学)
- 司会: オストハイダ・テヤ(関西学院大学)

10:30～11:30 ポスター発表

2階展示ロビー

- 民衆教育と国語統一の相克 —1913年の読音統一を巡る議論—
赤桐敦(京都大学・院生)
- 言語権立法としての「日本語教育推進法案」の課題 杉本篤史(東京国際大学)
- 1964年東京オリンピック開催時の外国語政策 藤井久美子(宮崎大学)
- 韓国留学生のライフストーリーにみる英語使用体験 英語話者としての自己の構築
中山亜紀子(佐賀大学)

13:00～13:30 総会(2階ホール1)

13:30～15:20 第1分科会、第2分科会、学会間交流セッション

第1分科会(2階ホール1) 言語法は言語を保障するのか —手話を例に—

- 趣旨説明 佐々木倫子(桜美林大学)
- 言語法と言語の保障 波谷謙次郎(神戸大学)
- 日本語の解放運動とろう教育への影響力 中島武史(大阪府立中央聴覚支援学校)
- 韓国手話言語法は手話を保障したか 崔榮繁(DPI(障害者インターナショナル)日本会議)

第2分科会(2階ホール2) メディアと言語政策

- メディアとしての教科書・教材を考える 岡本能里子(東京国際大学)
- 日本の小学校国語教科書における非連続テキスト 森篤嗣(京都外国語大学)
- 歴史の教科書から「外国語」の教科書へ —「視点を変える力の育成」を目指して—
杉谷眞佐子(関西大学)

学会間交流セッション(第3分科会)(2階第1特別会議室)

海外研究者の言語・言語政策研究の最前線から考えるグローバル化

- English in the Language Policy: Multilingualism and World Englishes
Yangsoon Kim(Hanbat National University)
- Some Issues of Gender-sensitivity in natural languages: Another look at the Interfaces of socio-linguistics and the Narrow Grammar
Pak, Chanin & Hong, Sungshim (Chungnam National University)
- Simple Past versus Present Perfect in English Tense/Aspect: the Roles and the Contributions of Adjunct Phrases to Meaning in Second Language Acquisition
Sungshim Hong & Jinhee Han (Chungnam National University)
- Language management in Jeju: With a special attention to Jejueo, the Jeju language
Changyong Yang (Jeju National University) & Yongjin Koh (Cheju Halla University)
- 司会: 高民定(千葉大学)

15:30～17:20 第4分科会、第5分科会、第6分科会

第4分科会(2階ホール1) 「高大接続」から見た複数外国語教育の課題

- 分科会の趣旨と目的 上村圭介(大東文化大学)
- 教育改革と外国語教育 山崎吉朗(一般財団法人日本私学教育研究所／一般社団法人日本外国語教育推進機構)
- 外国語教育の入試の現状と課題 —英語以外の外国語の入試—
中川慎二(関西学院大学)
- 高等学校における第二外国語教育の現状 —課題と提案—
寺尾美登里(大阪府立松原高等学校)

第5分科会(2階ホール2) 観光接触場面におけるツーリスト・トーク —「やさしい英語」と「やさしい日本語」—

- 司会・問題提起 加藤好崇(東海大学)
- 観光接触場面における「やさしい英語」使用のすすめ 藤田玲子(東海大学)
- 観光場面と「やさしい日本語」 庵功雄(一橋大学)
- 「観光装置・観光資源」としてのやさしい日本語 森直人(株式会社電通)
- 「やさしい言語」が生み出す観光接触場面における「ふれあい」と「おもてなし」
—ポライトネス理論の観点から— 宇佐美まゆみ(国立国語研究所)

第6分科会(2階第1特別会議室) 少数言語話者に対する持続可能な言語・教育政策 —日本・豪州・パラオ・インドの事例

- 在日ブラジル人第二世代の教育の現状と展望 杉野俊子(工学院大学)
- 多文化社会に揺れる移民先進国の言語政策: オーストラリアの市民権テストをめぐる課題を中心に 宮崎里司(早稲田大学)
- パラオにおける言語政策とその実践状況 岡山陽子(専修大学)
- インドの少数言語の保持活動と変革 野沢恵美子(東京大学)